



# 防 災 の 橋

東京都立墨東特別支援学校  
災害対策委員会

- [1] 災害対策委員長 挨拶
- [2] 訓練の様子「一泊二日宿泊防災訓練」(令和5年9月29日～30日)
- [3] 報告「今年度の防災教育への取り組みについて」
- [4] 付録 防災備蓄品の紹介

[1] 災害対策委員長 挨拶

## 大規模災害時の教職員の出勤態勢と墨東の防災

校長 田村康二郎

夏休み期間中に実施の総合防災訓練Ⅰ<教職員による災害時初期対応>については「墨東防災の学び」特集号第1弾で詳細をお知らせいたしました。今回は9月末に行った本校に通う墨東生が参加した総合防災訓練Ⅱについての特集を「墨東防災の学び」第2弾としてお届けします。巻末には防災備品や備蓄食料一覧も掲載しましたので、御家庭の災害時対応の参考にしてください。この機に改めて、都立特別支援学校教職員の大規模災害時の出勤態勢等のポイントを御紹介します。(都教育委員会災害対策要綱からの抜粋)

教職員は、非常災害の場合において、自宅及び家族の安全を確認した上、発災状況に応じた態勢<非常配備態勢又は特別非常配備態勢>に沿って参集しなければならない。

### ★非常配備態勢

発令形態	発令要件	態勢の内容
個別発令	○被害状況により校長が必要と認めた時 ○適用災害/勤務時間内に発生した地震 ○勤務時間外に発生した震度5強以下の地震、テロ、新興感染症(SARS、新型インフルエンザ)、他	○災害種に応じて校長が都度定める態勢 ※勤務時間内に震度6弱以上の地震が発生した場合は、全員が応急対策業務に従事

### ★特別非常配備態勢

発令形態	発令要件	態勢の内容
自動発令	○早朝・夜間・休日等の勤務時間以外に震度6弱以上の地震発生時	○全職員の一斉参集による態勢 (配備職員の区分は下表のとおり)

区分	役割	当該職員が所属の発災から72時間までの役割	居住地から勤務地までの距離	配備職員の指定区分	参集場所
第一配備員	発災後、最初に本校へ到着し、当該所属が所管する応急対策業務に従事する。	全員が、教育長としての応急業務に従事する。	10Km 以内	第一配備員	墨東特支
第二配備員	本校へ到着後、第一配備員とともに当該所属が所管する応急対策業務に従事する。		10Km 超 20Km 以内	第二配備員	墨東特支
特例配備職員	勤務地へ参集が不可能な場合には、あらかじめ指定された都立学校に参集し、当該校長の指示の基に被災者の救助、避難所運営支援等に当たる。		20Km 超	特例配備職員	あらかじめ指定された都立学校

◎都公務員として全体の奉仕者であるとの自覚の下、**教職員は勤務時間外であっても震度6弱以上であれば、本校又は他校に参集して避難されて来る児童・生徒の安全確保と保護を行う**と共に、都民や通勤困難者の救済に従事します。そのために通勤距離に応じた参集基準が明示されています。

また、下校前の災害発生時には、**保護者が到着されるまでの間、何時間でも何日でも全力で墨東生を校内で保護し、守り抜く覚悟**です。そのため訓練でもあります。

## 〔2〕訓練の様子②「1泊2日宿泊防災訓練」

今年度は4年ぶりに泊を伴う形で「1泊2日宿泊防災訓練」を実施しました。保護者による引取り訓練と教職員の総合防災訓練を併せて行い、学校全体として災害対策に取り組む意義ある機会となりました。

### 【避難訓練（地震）】

午前中は震度6強の地震を想定した避難訓練を行いました。放送を聞いて全校が体育館に避難し、点呼と報告を行いました。校長先生からは「避難するときに注意すること」や「ヘルメットの大切さ」について講話がありました。スクールバスが動かなくなってしまう想定で保護者による引取り訓練があることから、解散後も各自、教室に戻るまでヘルメットをかぶり続ける練習も行いました。



### 【引渡し（保護者による引取り）訓練】

午後は保護者による引取り訓練を行いました。昨年度の反省を生かし、校内の動線を改善したことで、スムーズに引渡しを行うことができました。御協力ありがとうございました。

引き渡しが落ち着いたところで、災害時避難体制の役割を確認する総合防災訓練に移行しました。それぞれ、45分間でどれだけ準備ができるかを想定し、役割を明確にしながら取り組みました。



### 【防災教育推進委員会】

今年度は防災教育推進委員会を9月に開催しました。様々な訓練が同時で行われている様子を専門家等の委員に見学していただき、改善のための助言をいただきました。「避難所の運営とともに、地域で増えている高齢者や障害のある方々への支援協力も含めて、モデルとなる訓練でした。」との評価をいただきました。有事の際に率先して行動ができるよう、反省点を反映させていくことで、より充実した訓練としていきます。





### 【一泊二日宿泊防災訓練①「ぼうさい教室」(東京海上日動)】

地震・津波発生時における避難行動の訓練の中で、東京海上日動様から、社会貢献事業の一環として「ぼうさい教室」と題した出前授業を行っていただきました。地震や津波が起こるメカニズムや避難の際の注意点、日ごろからの備えについて学習しました。



### 【一泊二日宿泊防災訓練②「初期消火・起震車体験」】

深川消防署森下出張所様に御協力いただき、初期消火訓練と起震車体験訓練を行いました。消火器の正しい使い方を学んだあと、炎に見立てたコーンをめがけて、実際に消火器を使ってみました。起震車では、一人ずつが震度5強の地震を体験することで、身の守り方を学びました。大きな揺れに驚いたり、周りのものが大きく動く様子を観察したりと、真剣に取り組んでいました。



### 【一泊二日宿泊防災訓練③「校内の防災設備確認訓練」】

校内の防災設備確認として、消火器や消火栓、防火扉の位置を確認しました。また、教職員が行っている総合防災訓練で以下の様子を見学しました。

- ① ポータブル発電機の稼働訓練
- ② 投光器の作動確認訓練
- ③ 仮設トイレの組み立て、設置訓練
- ④ 災害時備蓄薬品の確認訓練
- ⑤ 備蓄食料の調理訓練



### 【一泊二日宿泊防災訓練③「暗闇体験を含む夜間移動訓練」】

夜間は、学校内に用意されたポイントを探し、暗くなった校内を安全に移動するという訓練を行いました。5か所に用意されたポイントでは、防災クイズに挑戦し、タブレットによるスタンプラリーで学習ポイントを集めました。グループで相談し合って取り組み、全員が全スタンプを集めることができました。



### 【一泊二日宿泊防災訓練④「災害非常食の喫食訓練・避難所での就寝訓練」】

食事は災害備蓄食料を食べました。普段と変わりなくおいしく食べることができました。夜は緊張もあり、なかなか寝付けない生徒もいましたが、教員が付き添って緊張をほぐすことで、全員朝までゆっくりと休みました。朝はさわやかな音楽とともに起床し、元気に一泊二日宿泊防災訓練を終えることができました。



### 【参加学年の学習報告】

暗闇体験が楽しかったです。  
友達に布団をかけてあげました。

私が一番楽しかった事は暗闇体験です。  
夜の暗い校内は怖かったです。災害・防災クイズには全問正解できたので嬉しかったです。

防災授業も防災体験もすべて、勉強・復習になってよかったです。

最初は「こわい」と言っていたのですが、友達と朝まで泊まったことが楽しかったです。地震とか災害のことを習いました。起震車体験はとても楽しかったです。夜はカレーを食べて、朝は五目御飯とスープでした。夜のカレーはおいしかったです。食べ終わった後に暗闇体験をしました。いろいろなことを学べて楽しかったです。家ではもう少し遅い時間に寝るので、寝る時間になってもあまり寝ることができませんでした。暗闇の中、トイレに行きました。

### [3] 報告「今年度の防災教育への取り組み」

#### 【1. 避難訓練の改善】

避難訓練は「消防法第36条（防災管理定期点検報告）」に基づいて、大規模建築物などに関しては防災管理業務の実施が義務付けられており、年一回以上の実施をしなければいけません。また、「幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校においては年間11回以上、高等学校においては年間4回以上の避難訓練の実施を原則とする。（「学校・園における震災等に対する避難訓練等の改善について」東京都教育委員会ホームページより抜粋）」となっています。以上の理由から、8月を除いて毎月一回以上、避難訓練を行っています。

##### 改善ポイント① 年間計画の見直し

例えば、江東区では津波の発生確率は低く想定されています。（※決して起こらないというわけではないので、その都度見直していきます。）それよりも発生確率が高い、梅雨や台風の影響で発生する大雨・洪水、河川の氾濫等による浸水被害についての訓練を6月に設定しました。

また、「火災時に防火扉が閉まっている」や「地震によって普段の避難経路がふさがってしまっている」といった細かい設定の避難訓練を取り入れることで、様々な状況での課題点や改善点を学校全体で考えていけるようにしました。

##### 改善ポイント② アンケート集計

昨年度途中までは、アンケート用紙を学年の教職員に配布し、学年会等の会議を通して反省点を出してもらいました。そのため、反省が生活指導部の下に戻ってくるまでにタイムラグが生じることがあり、良い提案でもすぐに取り入れることができないことがありました。アンケート集約をForms方式に変更し、個別で意見を出してもらうことで、素早くフィードバックできるようになりました。対応が可能なものであれば翌月の避難訓練から取り入れ、より充実した訓練を行うことができました。

##### 改善ポイント③ PTAとの連携

様々な改善に取り組んでいく中で、PTAから「私たちも災害時にできることは？」との御提案をいただきました。協議の結果、1月の避難訓練はPTAとの共催という形で、PTA役員の方々にも訓練に御参加いただくことになりました。8月の総合防災訓練や9月の避難訓練を見学いただくなど、準備を進めているところです。また、「実際に災害があり帰宅困難な場合、学校で待機できないか？」という御意見がありました。今回の一泊二日宿泊防災訓練でも、医療的ケアのある生徒が保護者同伴で宿泊を行っています。保護者も含めた避難所設営の方法やお手伝いいただける役割も、来年度の総合防災訓練に取り組みながら計画を進めていきます。

#### 【2. 地域との連携】

新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、地域との関係がやや薄れてしまいましたが、今年度は防災教育推進委員会を基軸に、少しずつですが以前の形に戻るようにはしてきました。8月の総合防災訓練では猿江二丁目町会の会長様と防災担当様に見学させていただきました。12月には地域の防災訓練も計画中とのことなので、生活指導部中心に参加できればと考えています。

また、8月27日に行われた江東区の総合防災訓練も見学させていただきました。学校としても情報収集と情報発信、各所との連携など、参考にしていきます。

来年度は総合防災訓練や一泊二日宿泊防災訓練で非常食の調理、配膳やインフラ設備の設営、維持管理など、実際の災害時で御協力いただける場面を想定し、御参加いただけるような避難訓練を計画していく予定です。

#### 【3. マニュアルの整備】

##### 改善ポイント① 学校危機管理マニュアルの刷新

学校では学校保健安全法に基づき、学校危機管理計画の作成が義務付けられています。本校でも毎年、見直しと更新を行っていましたが、今年度は抜本的な刷新に取り組みました。

- I. 地震や不審者の侵入などの危機的事案が発生した時、すぐに確認できるように章立てをして作成。
- II. 実際の災害時に活用できるよう、フローチャート式に基本行動を提示。指示を出すときの確認事項や必要な対応をチェックリスト化。
- III. 避難場所や物品の場所が一目でわかるように、地図や図形を活用。

参考：【学校保健安全法】危険等発生時対処要領の作成等

第29条 学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、当該学校の実情に応じて、危険等発生時において当該学校の職員がとるべき措置の具体的内容及び手順を定めた対処要領（次項において「危険等発生時対処要領」という。）を作成するものとする。（一部抜粋）

##### 改善ポイント② 大規模災害時体制のマニュアルを更新

学校で管理している防災備蓄品は定期的に更新されます。それに合わせて活用するためのマニュアルも更新しなくてはなりません。今年度は校内環境整備に伴い、大幅に物品の管理場所が変更になりました。原則、学校スタッフは大規模災害時には学校に参集して避難所等の対応に当たることになっています。いつでも、だれでも対応できるようなマニュアルを目指し、日々、検討と改善を繰り返しています。



#### 【4. 校内環境の美化】

墨東きれいきれいプロジェクトの推進に当たり、防災・減災という観点からも以下の点に取り組みました。

##### 改善ポイント① 校内の不用物品・老朽化した物品等を破棄

36年の歴史の中で使用されなくなっても捨てられずにいるもの、老朽化して外れそうになってしまった掲示物等を撤去、廃棄しました。特に、スロープ下倉庫からは開校当時のものと思われる看板も見つかりました。一時的にグラウンドで保管していますが、契約手続きが済み次第、廃棄処分の業者に引き取ってもらいます。

##### 改善ポイント② 学校物品の整理と置き場所の改善

物品の破棄により、校内に大きなスペースができました。それらを有効活用できるよう、教材教具や制作をするときの素材類、防災備蓄品や保健物品等、物品の整理と置き場所の統一を行いました。併せて管理部署も統一し、不足した時の問い合わせ先がわかりやすくなり、重複した購入を防げるようになりました。

##### 改善ポイント③ 廊下の整理整頓

物品が置ける場所をテープで表示、それ以外の場所には原則置かないようにルール化。教室の目隠しも必要最低限なものだけにし、明かりが入るようにしました。階段の転落防止衝立も破損が見られたために撤廃して、S字フックとプラスチックチェーンをかけました。

今後は万が一災害が起きた場合、だれでも避難場所に移動できるように教室表示や校内の案内表示をわかりやすく改善していく予定です。

#### 【5. 防災教育の情報発信】

今年度の新しい取り組みとして防災教育通信「墨東防災の学び」を発行しました。保護者の皆様には、伝言ダイヤル訓練や引取り訓練等、学校における防災訓練に御参加いただいておりますが、児童・生徒の様子や学校の取り組みについては情報発信が不足しているのではという御意見を防災教育推進委員会等でもいただいております。また、学校の防災機能について知りたいという保護者からの御意見もあり、今回の発行に至りました。今後も定期的に発行することで、児童・生徒や保護者の皆様に安心感をもっていただき、また、御家庭での防災会議のきっかけになれば幸いです。

#### 【6. さくら連絡網・災害時伝言ダイヤル訓練への参加状況報告】

##### ○さくら連絡網（5月実施）

回答数 104/153（67.9%）

##### ○災害伝言ダイヤル

6月1日実施	9月15日実施
回答数	
98/185（52.9%）	81/184（44.0%）
i) 今回の伝言ダイヤルを実際におかけになりましたか？	
かけた：55名 かけなかった：43名	かけた：44名 かけなかった：37名
ii) 今回の電話はどの電話からおかけになりましたか？	
固定電話：8名 携帯電話：47名	固定電話：8名 携帯電話：36名

様々な御意見や御感想をいただき、ありがとうございました。参考にしながら、よりよい内容になるよう、検討し、改善してまいります。次回の災害用伝言ダイヤル訓練は2月1日を予定しています。御参加が難しかった場合でも、アンケートで御意見をいただければ幸いです。

[5] 付録 防災備蓄品の紹介

【防災備蓄食料・防災装備品の一覧】保管場所は随時変更があります。(生活指導部管理)

物品	保管場所
飲料水・生活用水	4F エレベータホール 及び 食料カート内 他
災害備蓄品食料	4F 渡り廊下
ろ過装置及び関連物品	4F 電気室
調理用品、食具	3F 家庭科準備室
災害時薬、臨時保健室物品	3F 生活訓練室
非常用発電機	3F 体育館ギャラリー
テント及び仕切り用段ボール	3F 体育館ギャラリー、放送室
ポータブルトイレ	3F 体育館ギャラリー
投光器	3F 体育館ギャラリー 及び 1F 第一教材室
毛布	1F 第一教材室

【災害時備蓄食料】児童・生徒と教職員の3日分(計9食分)を備蓄しています。

	普通食	初期食・中期食	経管栄養
朝食	クッキー	初：ミキサー粥 中：白粥	ポカリスエット
	クリームシチュー (缶)	クリームシチュー	カロリーメイト (液体)
		なめらかかぼちゃ なめらか緑黄色野菜	
昼食	白米	初：ミキサー粥 中：白粥	
	煮込みハンバーグ	鶏肉と野菜	
	オニオンスープ	なめらかにんじん なめらかさつまいも	
夕食	白米	初：ミキサー粥 中：白粥	
	カレー (ヒートレス)	ブラウンシチュー	
	味噌汁	なめらかトマト なめらか豆	

参考画像：夕食



【非常用発電機】インフラ整備だけでなく、人工呼吸器等の医療的ケアに必要な電源を確保するため、本校では複数のポータブル発電機を保有しています。

発電機	燃料	定格出力	台数
 EF1800iS	ガソリン	交流 定格出力 1.8kVA 定格電圧 100V 定格電流 18A 直流 定格電圧 12V 定格電流 3A 並列時交流 定格出力 3.6kVA 定格電圧 100V 定格電流 36A	1台
 EU16i	ガソリン	定格出力 1.6kVA 交流 電圧 100V 電流 16.0A 直流※1 電圧 12V 電流 8A	3台
 EU9iGB (エネポ)	カセットガス燃料	定格出力 0.9kVA 交流 電圧 100V 電流 9.0A	5台
 MGC901GB/GP	カセットガス燃料	定格出力 900VA 定格電圧 100V 定格電流 9.0A	4台
 ML720i	カセットガス燃料	定格出力 600W	1台
 Z-300	電気	出力電圧 AC100V DC12V 矩形波	2台

【非常用発電機用燃料】災害時に稼働する非常用電源と上記のポータブル電源を稼働させるために燃料を備蓄しています。

種類	数量	保管場所	使用用途
ガソリン	40L	1F 主事倉庫	発電機、濾水機
カセットガスボンベ	約400本	3F 体育館ギャラリー	発電機 調理用カセットコンロ